

令和8年度 介護労働懇談会の開催 広島支部

開催日時：2月20日(金) 13:15 ~16:30

テーマ・議題

- ①参加行政機関等からの最新情報の提供
- ②「カスタマーハラスメントの実務対応～事例から学ぶ組織としての対応体制～」
- ③広島県介護生産性向上総合相談センター事業紹介「介護職場サポートセンターひろしま」における取り組み状況について
- ④意見交換会
県市町、介護サービス関係団体における取組状況等の報告（介護サービス体制の現状・課題、人材確保支援の取組、介護職魅力発信の取組、外国人材の確保・定着の取組）

主な参加機関

広島労働局、HW広島東、広島県健康福祉局、広島県商工労働局、広島市、福山市、東広島市、三原市、三次市、廿日市市、大竹市、安芸高田市、広島県社会福祉協議会、広島県老人福祉施設連盟、広島市老施連、全国老人保健施設施設協会、日本認知症GH協会、生協連合会、ポリテクセンター、日本福祉用具供給協会、広島市域訪問介護事業所連絡会、広島県介護福祉士会、広島県介護支援専門員協会、広島労働局、広島県健康福祉局、広島県商工労働局、広島市、福山市、呉市、東広島市、三原市、尾道市、三次市、廿日市市、広島県社会福祉協議会、広島県老人福祉施設連盟、広島県経営者協議会、広島市老施連、全国老人保健施設施設協会、日本認知症GH協会、生協連合会、ポリテクセンター、日本福祉用具供給協会、広島市域訪問介護事業所連絡会 他43関係機関



討議内容

- (1) カスタマーハラスメントセミナー
「医療・介護現場におけるベシエントハラスメント対策研修」
弁護士法人 晴星法律事務所 弁護士 下川 絵美 氏
①ベシエントハラスメントとは 定義と具体例
②発生背景と現状 医療・介護現場の特殊性
③法的観点から見た対応 違法性の理解と応召義務との関係
④組織的対策 体制整備と予防対策
⑤個人の対応スキル 実践的なコミュニケーション技術
⑥事例検討と実践演習 具体的な対応
- (2) 「介護職場サポートセンターひろしま」の取組状況と今後の展開について
広島県社会福祉協議会 地域人材統括部長 仁志田 訓司 氏
①広島県における生産性向上の推進体制
②介護職場サポートセンターひろしまの取組
③センター運営における今後の課題について
- (3) 意見交換会「県市町、介護サービス関係団体における取組状況報告」
①関係機関からいただいた意見・課題の紹介
②意見・課題を踏まえた各行政からの取組に係る報告
・介護サービス提供体制の現状・課題
・人材確保の支援の取組
・介護職の魅力発信の取組
・外国人介護人材の確保・定着促進の取組
・テナント入居している地域包括センターへの賃借料補助について

参加団体からのお知らせ・状況報告等

- 1.広島労働局職業安定部職業安定課:広島県における介護分野の人手不足の状況・管内の雇用情勢(令和7年12月分及び令和7年分)・医療・介護・保育分野の人材確保について・職業別有効求人・求職及び賃金の状況(常用)
- 2.広島労働局職業安定部職業対策課:令和7年度雇用・労働分野の助成金のご案内(簡略版)
- 3.広島県公共職業安定所:福祉分野における人材確保対策総合推進事業について
- 4.広島労働局基準部監督課:介護労働者の転倒災害(業務中の転倒による重傷)を防止しよう・労働者死傷病報告の報告事項が改正され、電子申請が義務化されます
- 5.広島県医療介護基盤課:広島県介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業について・介護事業所・施設等に対するサービス継続支援事業
- 6.広島県職業能力課:職業訓練(介護分野)の実施状況について
- 7.広島市健康福祉局:広島市令和8年度当初予算主要事業

事務局からのコメント

今年度は、構成員間の「意見交換」を主なテーマとして開催しました。そのために、事前に意見交換に係るテーマ・質問等の照会を行うとともに、行政には介護サービスの持続的な提供等に向け、現状そして、課題・取り組み状況等についての意見照会を行った。それぞれの立場から建設的な多くのご意見をいただき、本懇談会において有意義な共有・意見交換が図れました。また、ご意見・ご質問等については、関係機関と事前の調整を図ることで的確な回答をお返しいただくこともできました。合わせて、昨年いただいたご意見を踏まえ、カスタマーハラスメントをテーマにしたセミナーを弁護士の方先生に行っていた、法的見地からの対応についての理解を深めていただいた。今年から新たに3市にご参加いただき、県内、大都市・一般都市・中山間都市を代表する市町に参加いただくことでオール広島県として懇談会を運営することとなりました。次年度以降も、介護業界を取り巻く環境は益々厳しくなりますので、課題解決等に向けて取り組みに係る連携が一層図れるような懇談会として、広島県の他の会議等と一層差異化を図り存在感を高めていきたい。